



学塾通信 6月号（第 151 回）

～学塾は一人ひとりが目標に向けて真摯に取り組む教室である～

4月は新入塾生だけではなく卒塾生や仲間の来訪がありました。そのなかで塾生のみなさんにも共有できる話をお伝えします。

4月26日土曜日に卒塾生が教室に来てくれました。社会人になって1年が経ち、東京で高輪ゲートウェイの開発の仕事をしているそうです。

30分ほど話をしたのですが「塾長！やっぱり勉強はしとかなあかんわ」「俺、何回も言ったよね」というやり取りになりました。彼は社会人になって勉強の大切さを感じたそうです。全日制高校を中退し定時制の高校を卒業をして現在に至ります。資格をとるための勉強もこれから始めるそうですが、その内容は中学・高校で学んだこととも関連しているようです。

随分と遠回りをしましたが、糸余曲折を経て20歳で勉強の大切さを実感した彼はこれから益々スキルアップをし、もっともっと良い仕事をするようになるでしょう。まだ20歳これからです。

4月30日水曜日には、20年ほど前に神戸で“教室長と講師”という間柄で一緒に仕事をしていた友人が学塾に来てくれました。阪大の大学院を卒業し日立系の会社に就職。15年勤めたあと退職。現在は資格を取るための勉強をしているそうです。応用情報者技術試験とAWS認定資格を目指して頑張っているとのこと。彼も浪人時代に受験勉強に向き合ったことが今の糧になっていると言っていました。

ふたりに共通することは社会人になっても勉強を続けているということです。自分の仕事に直結する勉強を主体的にしています。

塾生のみなさんも「塾長に勉強をさせられる」という意識ではなく、将来の糧になると思って頑張って欲しいです。

これから先は毎月と同じ流れです。学習する時間を確保すること、習慣化すること。地道にコツコツと継続することが学力を上げるための唯一の方法。改めて意識して下さい。

その一方で机に向かっている時間は長いけれど、点数に繋がっていないという人もいます。それには原因・理由があります。この原因を改善していかなければ、同じことの繰り返しになります。

4月末に中学1年生のテスト対策説明会で、×を○にする勉強が点数をあげる勉強であるとお伝えしました。これはテスト前学習会のプリントにも毎回記載していることです。これを意識している人はどれくらいいるでしょう。学校のワークで間違えた問題がテストまでに自力でできるようになっているのか？毎週のミニテストで間違えた問題のやり直しはできているのか？

この点を徹底するだけでも、できることが確実に増えます。自分のやりたいことだけやる。自分ができる量だけやる。このような自分本位な学習から脱し、点数を取れる勉強をすることを意識して下さい

「できるようになりたい」「100点を取りたい」という気持ちが何よりも大切です。



○保護者面談について(随時受け付けています。)

面談を希望される方は info@gakujyuku.com 宛にご連絡をお願いします。日程調整をします。

○入試情報等について

各学校から届いた案内や入試に関する情報は、学塾の X(Twitter)にて配信しています。

○教室への連絡について

教室への連絡は、一斉配信のメールアドレス宛に用件を送っていただいても教室には届きません。

お手数ですが info@gakujyuku.com 宛にお願いします。

メール確認後は、当日ないし翌日までには返信しています。教室からの返信が無い場合は、一斉配信宛に届いている可能性があります。一度ご確認をお願いします。

○学塾アプリの運用について

モニターとして手を挙げていただいたみなさま、ご協力ありがとうございます。

1年かけてアプリに移行をしていく予定です。移行後は現在使っている一斉メールでのお知らせ配信は停止します。

このアプリを使う一番大きなメリットは、教室からの配布物を PDF でお届けすることができるようになることです。これによりお子様から保護者様に渡っていないということが無くなります。

ご協力よろしくお願ひします。

今後の流れについて

6月末 全家庭にマニュアルとログイン ID・パスワードを配布

7月・8月 従来手段(メール・紙連絡)と併用

8月末 従来手段の要・不要をお聞きした上で移行できる方から順次移行

2026年2月末 完全移行

○一泊移住・修学旅行の振替について

堀江中学の1年生のうち1組～5組は5月19日(月)・20日(火) 6組～9組は20日(火)・21日(水)で一泊移住があり、3年生は6月25日(水)・26日(木)・27日(金)まで修学旅行です。

その間の授業を5月24日(土)・6月21日(土)・6月28日(土)で実施します。

部活動や習い事で土曜日の振替が難しい方は別日で調整します。

5月6日に配布している案内をご確認ください。

○お願い

定期テストが終わったからと安易に欠席しないでください。中間テストが終わってから期末テストまでの授業回数は4~5回しかないため、ひとつのテストが終わった後もすぐ次に向けて準備をする前提で考えています。よろしくお願いします。

○保護者面談について

中間テスト終了後を目安に、希望される方に保護者面談を実施致します。

期間は6月2日(月)~7日(土)です。

面談を希望される方は info@gakujuuku.com 宛に連絡をお願いします。

私立中学・高校生で上記期間がテスト期間の方については、テスト終了後に実施させていただきます。

○読書のススメ

スマホを使わない時間を意識的につくり、その時間で本を読み活字に触れる機会をつくりましょう。子どもたちの活字離れは深刻です。学校の教科書を読む以外に活字を読む機会が少ないのでしょう。日本語を読むことができても、内容を理解できているわけではありません。日常で触れているSNSやショート動画は、数秒で理解できるように、かつ興味が湧くような内容につくられているため、それに慣れてしまうとじっくり文章を読み内容を吟味することが難しいでしょう。このような現実を考えると自然と読解力が身につくとは考えにくいです。

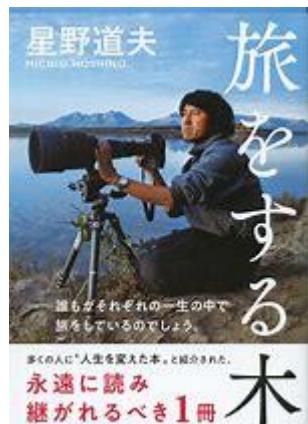
ですから、意識的に活字に触れる時間を作る必要があります。

中学生・高校生のみなさんに私がお勧めする本

「旅をする木」 星野道夫

アラスカの雄大な自然に魅せられ、26歳で移り住んだ星野道夫さんのエッセイ集です。

氷河や野生動物、人々の暮らしを通して生きることは何かを問いかけています。自然と自分自身を見つめる良い機会になると思います。



☆小学生☆

小学生の間の学習習慣が中学生以降につながります。

勉強が好き、もしくは得意という人はもちろんですが、あまり好きではない、むしろ苦手だという人も小学生の間の過ごし方次第で中学生以降の学力に大きな違いがでます。苦手だけど中学の学年平均点は取ることができる、苦手だから平均点を越えることができない、という差が生まれます。

もちろん、最初は苦手でも続いているうちにできることが増えてきて得意になることもあります。

だからこそ小学生の間こそ学習習慣を身につけるための時間(自主学習の時間)を作ることを強く勧めます。英検・数検・漢検などの各種検定合格を目指すなど、何か目標を決めて取り組みましょう。

☆中学受験生☆

○模試について(新小学 6 年生・5 年生)

第 3 回 五ツ木模試 7 月 6 日(日)

中学受験の五ツ木・駿々堂模試は保護者様にお申し込みをしていただく形になります。

その際に塾名を「学塾 S60600」で登録していただきますようお願いします。

☆中学 1・2 年生☆

中学 1 年生のみなさんは高い意識で頑張ることができます。中学校生活に慣れても今の気持ちを忘れずに努力を続けていきましょう。初めての定期テストが終わった後に言うのも酷ですが、事実だけを伝えます。1 学期の定期テストの点数より 2 学期の定期テストの点数は 5 教科合計 20 点ほど下がると考えておいてください。

1 学期に取った点数は 2・3 年生の基準から考えるとおよそマイナス 20 点の点数となります。毎年 2 学期になって成績が振るわなくなったと感じる方がいらっしゃいますが、マイナス 20 点以内であれば実力相応だと考えてよいでしょう。ですから、1 学期に取っていた点数を維持しようと思えば 1 学期の定期テスト以上にしっかり準備をすることが必要です。

中学 2 年生は取り組みが甘い人が多いです。ミニテストもほとんどの人が継続できていません。自分なりの頑張りでは伸びません。「(自分なりに)やっています」「(自分なりに)頑張っています」ではなく、本当にできるようになっているのか?覚えるべきことは覚えているのか、間違えた問題をもう一度出題されたときには正解できるようになっているのか自分自身に問いかけてみてください。学校生活や部活動にも慣れてきている。テストの点数も現状で良い、ほどほどで良い。そこまで頑張るつもりはない。というのであれば、そのような考えは捨てて欲しいです。自らの目標点を掲げ、それに向けて日々頑張るようにしてください。簡単に高校ごとの目安もお伝えします。文理学科であれば定期テストで 420 点以上、住吉などの公立上位校、関大や近大などの大学系列であれば 400 点以上、清水谷・市岡は 380 点以上、港は平均点以上を目指しましょう。

現状が自分自身の上限ではなく、辿り着きたい場所が目指すべき着地点です。P

☆高校受験生☆

4月23日(水)の読売新聞の朝刊に衝撃的な記事がありました。

公立高校のデジタル併願制の導入を政府が考へているというニュースです。大阪府としても公立高校入試の日程の前倒しを進めている最中、国としても制度改革に動き出しました。

公立高校の定員確保のための施策だと思いますが、これにより公立高校に行くことはできないということは無くなりそうです。それにともない受験勉強の位置づけも変わってくるでしょう。

一番危惧していることは「受験勉強をする必要が無い」という考え方方が増えることです。学塾では中学3年生になる前に、同意書を書いていただいている。その中の項目のひとつに「部活動や課外活動で推薦をいただいたとしても、最後まで受験勉強をやり切る」というものがあります。

入学するための勉強という一面と、スキルアップのための勉強。高校進学後も見据えた受験勉強が何よりも大切だと考へているからです。

学ぶことは人生を豊かにする要素のひとつです。自分の考えを論理的に伝えること、または文章で表現すること。希望する学校に進学することと同じように、学ぶこと自体に価値があるのです。

○中3 第4回 塾長講座について

2025年 6月28日(土) 13時30分～19時00分

※原則全員参加をお願いします。

部活動などで欠席される場合は欠席届をご提出ください。

9月から模擬試験を受ける機会が増えていますので、模試についての考え方をお伝えします。模試に向けて勉強し、当日頑張ることももちろん大切ですが、受験後の復習はもっと重要です。模試を終えたあと、解説を読み復習することで幅広い知識を得ることができます。例えば、英語で“ I enjoy () tennis.”の空白に playing または to play のどちらが正しいかを問う問題が出題されたとします。ただ正解不正解を見るのではなく、解説を読み復習をすることで、動名詞をとる動詞は他にも finish や give up , avoid があることを知ることができます。ひとつの動名詞の知識を問う問題から、より幅広く知識を増やすことができるのです。

ですから、この時期は模試の結果に一喜一憂せず、「模試を使って知識を整理し、実力を強化する！」という姿勢で試験に臨んで下さい。今、復習をしっかりとしておくことで秋冬の直前期にグンと力がつきます。

【模擬試験を受験する目的(9月末までの考え方)】

① 現時点での学力を測る。

これまで学習してきたことが定着しているかを確認します。

間違いを分析する事で理解度を把握することができます。

② 解いた問題を使って学力をつける。

模試の問題は良問が多いです。

この良問を使って復習をする事で、各教科の知識を増やすことができます。

③ 広い地域での学力レベルを把握する。

それぞれの学校でテストはありますが、学校外での学力を知る機会はありません。

模試を受けることで、広い地域の中で自分はどのあたりの学力層に位置しているのかを知る機会が得られます。

模試では合格判定が出ますが、9月までの合格判定はあまり気にしないで下さい。

入試当日に得点を取ることができるように、ひとつひとつ積み上げることを考えていきましょう。

☆大学受験生☆

○大学受験生へ

塾生のみなさんが自分なりに頑張っている様子は伝わります。しかし大学受験に求められているレベルに達しておらず苦しんでいる様子もみられます。さらなるレベルアップが求められますが、これに関しては気持ちを切らさずに粘り強く取り組むしかありません。受験勉強に対する優先順位を上げ、日々取り組むべきことを確実に行っていきましょう。

大学受験生が合格を勝ち取るために何が大切なかを考えると、最終的には「心の成長度合い」です。言い換えると自己管理能力・自分との付き合い方・モチベーションの保ち方・将来に対するビジョンなど、目標に向かって自分自身を上手にコントロールする力がどれだけあるかということです。心が成長していれば学習定着も比例してよくなり、精神的に幼ければ受験勉強も途中で失速していきます。

試験に直結するのは授業での教科学習ですが、心の成長につながるのは毎週提出してもらっている手帳の記入と振り返りの習慣です。

さらに心の成長を進めるために、第一線で活躍している経営者やスポーツ選手の自伝などを読むことをお勧めします。そこから目標に向かう「在り方」を学んでください。

目指す学校のレベルが高いほど受験勉強は大変ですが、その分得るものもたくさんあります。

今月も頑張りましょう。

2025年度 新年度生募集について

お友達紹介キャンペーン

紹介された方 入会金無料・紹介者 3000円分のクオカード

【高校生】	募集終了
【高校受験 中3】	募集終了
【高校受験 中2】	募集終了
【高校受験 中1】	募集終了
【中学受験 小6】	募集終了
【中学受験 小5】	若干名
【非受験 小学生】	若干名